

2024 年度

広畑あおぞら保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2025年1月14日（火）～2月27日（木）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2025年2月28日（金）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	『おもいっきり遊ぶ、おもいっきり学ぶ』の保育理念に則り、一人一人の気持ちに寄り添い、子どもの最善の利益を尊重した、安心して楽しく遊べる保育環境に取り組んだ。
子どもの発達援助	日々のミーティングで子どもの発達状況や関わりについて職員間で共有し、全職員が同じ関わりをすることで、子どもの一人一人の安定につながった。
保護者に対する支援	送迎時に、子どもの様子を伝え保護者との会話を大切にした。また今年度は、懇談の回数を増やし、子どもの様子を共有することで、より交流も深まり保護者の気持ちに寄り添った対応に努めることができた。
保育を支える組織的基盤	自治体が行う研修には積極的に参加し、園内研修で研修内容の落とし込みを行い実践に活かした。また、全職員がキャリアアップ研修に参加し、スキルアップに努めた。

総評	
<p>今年度は『子どもの最善の利益と子どもの人権』について、研修に参加したり、多くの話し合いの機会を設けた。職員間で、子どもの人権について深く考え、日々の保育のなかで活かすことで子どもたちが安心・安全で楽しく過ごせる場である環境作りに努めた。</p> <p>また、保護者支援では、保護者のニーズに丁寧に対応し、安心して子育てができるようにした。</p> <p>次年度は、保育士のスキルを活かして、年齢に合った手づくりおもちゃの製作や遊びの提供を強化していきたい。</p>	